

よいことの ために Weekly Report 2025-2026 手を取りあおう



創 立 1969 年 4 月 14 日
承 認 1969 年 4 月 23 日
チャーターナイト 1969 年 11 月 9 日
発 行 I T・広報委員会

会長：鈴木雅博 / 幹事：堀井実 / 副会長：遠藤直樹 / 会長エレクト：藤田俊和 / 副幹事：岡田和幸 / S.A.A: 松岡寛征

今週のプログラム		第 2650 回	11 月 21 日
会計について			
担 当 者	会計	例 会 場	J R ホテルクレメント高松

先週のプログラム		第 2649 回	11 月 14 日
・ロータリー財団について ・ロータリー財団地区補助金事業「NPO 法人ミライキッズプロジェクト」報告			
担 当 者	ロータリー財団委員会	例 会 場	J R ホテルクレメント高松



鈴木会長挨拶

・皆さま、こんにちは。
皆さんご存じだと思いますが大谷翔平選手が3年連続のMVPを獲得しました。
投打にわたる漫画みたいな活躍にはビックリさせられます。
私は所用で参加できませんでしたが先日NPO法人ミライキッズプロジェクトにパソコンを進呈しました。
財団より補助金をいただき行う事業ですが手続きも煩雑で大変だったと思います
ということでご尽力されました本日のMVP野口会員より後ほど報告がございます。
それでは本日も最後までよろしくお願いします。

メイクアップ

11月12日 高松南RC 岩本
11月13日 高松RC 有友 低田

ニコニコBOX

久しぶり卓話のチャンスを頂きました。	野口
昨日は市役所で野口さんにお会い出来ておどろきました。	大西
早退	1件
合 計 3 件	
本 日 の 合 計	8,500 円
2025-2026 年 度 累 計	292,000 円

堀井幹事報告

回覧 ・ハイライトよねやまが届いたので回覧に回します
・高松北ロータリークラブより45周年記念式典出席の御礼状が届きましたので、回覧に回します

出席報告

出席委員長：大西一正

会 員 数 /	44 名	出席規準数 /	41 名
出 席 者 数 /	25 名	欠 席 者 数 /	16 名
出 席 率 /	60.98 %	ビ ジ タ ー /	0 名
最終出席率 /10 月 17 日	57.50 %	→	68.29 %

11月21日 今日は何の日		今日生まれの有名人	
イービーの日/任天堂の日/カキフライの日		1997年 旗手怜央	1967年 古賀稔彦
1978年 江川卓がジャイアンツと契約(空白の一日)		1992年 指原莉乃	1957年 西脇美智子
1990年 任天堂スーパーファミコンが日本国内で発売		1981年 池脇千鶴	1933年 平幹二朗
誕 生 花	「イチヨウ」花言葉は「荘厳・長寿・鎮魂」		
誕 生 石	「レッドアゲート」宝石言葉は「生命力・子宝・勇敢・絆」		

手に手つないで

手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 一つ心に
おおロータリアン おおロータリアン



2025-2026 年度 1 1 月定例理事会

日 時 2025年11月14日

場 所 J Rホテルクレメント高松：例会場

出席者 鈴木、江島、藤田、遠藤、堀井、五ノ坪、松岡、住谷、朝倉、オブザーバー 岡田

- 議 題 ① 今後の会計（特に会費の増額）に関する集中討議
→過去の決算等に基づき、今後の会計に関する集中討議を行った。結論としては、次年度より会費の増額を図ることとし、本年度理事会でその額をとりまとめ、今年度中に総会に提案することになった。
- ② クリスマス例会に会員から会費を徴収することについて
→ 予算上は例会費をクリスマス例会に充てれば不足分をまかなうことができることから、クリスマス例会は会費を会員から会費を徴収しないこととした（理事会決定事項として、親睦委員会に伝える。）

RI 会長からのメッセージ（10月）



地域社会が主導する開発とは

フランчесコ・アレツォ
2025-26年度 国際ロータリー (RI) 会長

10月はロータリーの「地域社会の経済発展月間」です。持続可能で活気ある地域社会を築けるよう支援する取り組みに光を当てる機会であり、ロータリーの中核的価値観の一つである「リーダーシップ」とも完全に一致しています。

リーダーシップとは、人々に自らの進歩を導けるような力を与えることです。まさにそれが、ロータリーの経済発展プロジェクトの目標です。

例えば、南インドで行われた最近の取り組みでは、ロータリー会員がインドの先住民民族・アディバシの女性にミシン縫製の訓練を提供し、自立と社会復帰への道を開きました。この地域では、歴史的に、夫を亡くした女性や、家族に見捨てられた女性が社会的地位を失い、差別されたり、不幸の責任を負わされたりしてきており、自立や訓練の機会はごく限られていました。しかしこの活動により、彼女たちは生計を立て、再び社会に参加できるようになったのです。

今年、カナダのウィンザー・ローズランド・ロータリークラブ (RC) は、インドの第3203地区と第3234地区のクラブ、さらに現地団体「Sevalaya Trust」と協力し、80人のアディバシの女性にミシンと縫製訓練を提供しました。女性たちは、サリー用のブラウスやクルタ（膝丈までの長袖の上衣）、サルワール（ゆったりしたズボン）などの民族衣装を縫う技術を学び、自分や家族を養う手段を得ました。社会から孤立していた女性たちに、貴重な収入と尊厳を取り戻す機会を与えたのです。なおこのプロジェクトは、ミシンの長期的な無料メン

テナンスを約束しています。

このストーリーは、ロータリーのリーダーシップを体現する一例です。地域の人々が、自らの課題に応じた解決策を導いているのです。私たちの役割は、単なる慈善や外部モデルの押し付けではなく、リーダーシップや技能を伝え、持続可能な事業に投資することで自立を促すことです。

この10月、私はロータリー会員の皆さんに、地域社会における経済的リーダーシップについて考えてみていただきたいと思います。地元で経済活動を主導しているのは誰でしょうか？ 研修やメンターシップによって伸ばせる、眠れる才能はどこにあるのでしょうか？ クラブが地元企業、専門学校、信用組合などと連携して、新たな機会の橋渡しになれるとしたら？

リーダーシップとは、必ずしも前面に立つことではありません。人の声に耳を傾け、協力し、他者の声を広めることもリーダーシップです。そうした姿勢こそ、ロータリーの理念の核心であり、経済発展における私たちの持続的なインパクトの基盤なのです。

小口融資グループ、職業訓練、起業支援プログラムなどを通じて人々の能力を育てることで、地域が自ら変革を導く力を得ることができます。自らの進歩を自らの手でつかむとき、変化は持続可能になります。

善意を持って導き、真心を込めて支援しましょう。地域のリーダーシップを育むことで、私たちは、個人や家族、社会全体に波及する機会を生み出すことができます。

誰もが恩恵を受けられる経済を支え、持続可能な地域発展プロジェクトを共に実現していきましょう。

facebook

facebook でたくさんの写真を公開していますのでぜひご覧ください。



<http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC>

公共イメージ向上委員会よりお願い

週報に掲載させていただく記事・原稿を募集させて頂きたく会員の皆様のご協力をお願い申しあげます。

題目は自由として、できるだけ多くの皆様に近況報告も含め各業界分野の話、身近な随筆、提言等どんなお話でも結構ですので投稿していただきます様、宜しくお願い申し上げます。

よいことの
ために
手を取りあおう



次週のプログラム

第 2651 回

12 月 5 日

客話：さぬき動物愛護センター（しっぽの森）所長 薦田 博也様

担 当 者 プログラム委員会

例 会 場 J Rホテルクレメント高松

The Rotary Club of Takamatsu West